

平成27年1月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ プ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鉢 嶺 登
(コード番号 2389 東証第一部)
役 職 ・ 氏 名 執 行 役 員 C F O 工 藤 正 通
電 話 0 3 - 5 7 4 5 - 3 6 1 1

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年1月31日「平成25年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表しました、当社平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 当連結業績予想数値と実績値との差異について(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	67,000	5,100	4,950	2,700	円 銭 91.61
今回実績値(B)	66,984	4,471	4,067	1,092	40.68
増減額(B-A)	▲16	▲629	▲883	▲1,608	
増減率(%)	▲0.0%	▲12.3%	▲17.8%	▲59.6%	
(ご参考) 前期実績	67,624	1,300	1,105	610	20.73

2. 差異が生じた理由

当社は、平成26年度を「投資の年」と位置づけ、中長期的な成長に向けた体制整備・各種投資をグループ全体で積極的に行ってまいりました。

このような中、新規事業投資が当初想定よりも長引きコストが増加したことや、M&Aによるのれん償却費負担が増加するなどしたため、営業利益が想定を下回る結果となりました。

また、平成26年7月25日付「特別損失発生のお知らせ」にてお知らせしました貸倒引当金繰入や、第4四半期における固定資産の減損損失、一部子会社の清算による損失発生、投資有価証券評価損等の想定外の特別損失が発生し、当期純利益においては当初予想数値を大きく下回ることとなりました。

これらの結果、売上高はほぼ当初想定通りに進捗しましたが、営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

以 上